

額田地域における 公共ライドシェア導入に向けた検討状況について

はじめに

- 額田地域で運行するコミュニティバスにおいて利用者数が減少している路線があることから、地域ニーズに沿った移動手段に改変していくことを検討する必要がある。
- 愛知県では、国の補助事業を活用し、地域交通の確保・維持のため、県内市町村での自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）等の立上げ支援を実施することとしている。
- 愛知県が本市と連携し、住民が主体となって地域交通を考えるためのワークショップ等にコーディネーター役として専門人員を派遣することによって、合意形成や事業化への足固めをすることとしている。

【額田地域のコミュニティバスの年間利用者数の推移】

路 線	主な起終点	利用者数（人/年）		
		R4	R5	R6
下山地区線	岡崎げんき館前～市民病院～下山地区	2,581	4,115	4,049
形埜地区線	北部診療所～形埜地区	342	136	103
宮崎地区線	宮崎診療所～大雨河・千万町地区	290	192	149
豊富・夏山地区線	額田センター～鳥川・夏山地区	261	147	151
合 計		3,474	4,590	4,452

ワークショップの進め方

2

◆ コーディネーター パブリック・ハーツ 代表 水谷香織氏

	実施時期	テーマ及び内容
第1回	10/1（水）	<p>【テーマ】 移動課題の見える化</p> <ul style="list-style-type: none">➤ ガイダンス➤ 公共ライドシェアに関する情報提供➤ 地域の移動の課題出し <地区ごとでグループワーク>
導入希望地区及び参加希望地区の照会		
第2回	10/23（木）	<p>【テーマ】 公共ライドシェアで叶えたい地域の移動の姿を考える</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 公共ライドシェアの詳細について➤ 公共ライドシェアで実現したい移動のかたち
第3回	11/27（木）	<p>【テーマ】 実施に向けた設計と実施内容の絞り込み</p> <ul style="list-style-type: none">➤ R8年度の実証運行実施に向けての検討
第4回	12/18（木）	<p>【テーマ】 R8年度に向けた計画の具体化</p> <ul style="list-style-type: none">➤ R8年度の実証運行の計画づくり➤ 地域の運営体制の仮決定

【開催概要】

日 時：令和7年10月1日（水） 18時30分～20時30分

会 場：額田センター集会室

参加者：5学区・34名

（総代、社会教育委員会、まちづくり協議会、老人会、社会福祉協議会など）

議 題：岡崎市の公共交通と公共ライドシェアの紹介（岡崎市から）

地域ごとの話し合い ① 移動の現状の困りごと

地域ごとの話し合い ② 今後について

【結果】

- 本事業の目的と全4回のワークショップの開催趣旨を説明し、事業全体のロードマップを共有した。
- 学区ごとで移動の現状や困りごとを共有し、通院など高齢者の移動の足の不足や子どもの送迎の負担、送迎を希望するものの周りの人に頼みたくても頼めない、というような声が多く挙げられた。
- 公共ライドシェアに関しては、運転手の担い手がいるか、報酬はどれだけか、予約受付はうまくできるのかなどの課題を感じる声があったものの、各学区、公共ライドシェアの導入に対して活発な議論が行われた。
- 参加を希望する学区を対象とし、令和7年10月23日（木）に第2回ワークショップを開催することを案内した。

第1回ワークショップの様子

4

